radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ

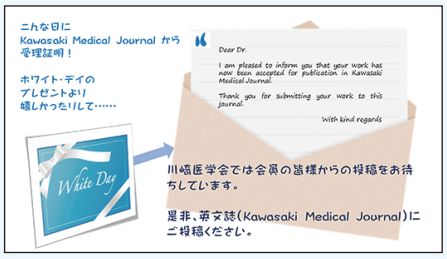
Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

さて、大槻は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るところには、メールボックスがあって、そこにデジタルサイネージが設えてあります。いろんな情報を掲示するのですが、医学会として発刊している機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。友人の Ms. Keiko C の描いたイラストを使わせてもらったり、自分で撮った写真を使ったりしています。

1+2 月号では、申し訳ありません。2017 年のスライドを紹介してしまっていて、以前の記事と同じような内容になっていました。今回は、きちんと昨年分を紹介します。

では、2018 年の 3 月と 4 月のスライドを紹介します。

春がまだまだ遠い 3 月。川崎医科大学のある倉敷市はそれほどの雪になることはないですが、皆様の地域はいかがですか？



3 月はホワイト・デイ、皆さん、ちゃんとお返しされていますか？

待ち遠しい春を待ちながら、でも寒い日には冬の衣装も片づけ切れないですね。

大分前の 3 月、米国の学会に参加したら栗鼠！可愛い！！！

4 月になるとなんだか気分も変わります。天気の良い日には、ちょっと薄着で、出掛けてみたくなります。

春は桜、なんといっても美しい！　風の強い日が少なくって長く満開を楽しめるといいのですが。

春になると、いろんなことが目覚めていくような気がします。活動開始！

御衣黄は、少し緑がかった桜です。岡山県庁横の旭川の河畔で見つけました。この色合い、次第にピンクになっていきますが、味わい深いものがあります。

さて、オリジナル曲の春の歌。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-

iTunes リリース・アルバム「Adolescent Memories」より「時間を止めて」です。

オリジナル作詞は「幸田圭子」さん。

大槻が高校の頃 1 年間くらい作詞の文通をしていました。アルバム楽曲にするのに、大槻が補作詞をしています。

春花　咲く頃　さよならと
笑顔のままで　別れたよ
　あの日もこんな　青空で
タンポポの花　歌ってた

ジャスミンが　風の中
夢のような　甘い香り
　静かに運んで　くるけれど
過ぎたことさ　今はもう

　初めはいつも　優しさで
　満たされていた　心だって

　いつの間にか　色あせて
　　二人の心は　すれ違い

時の流れは　早過ぎて
大人のふたりが　いるだけさ
　無邪気さなんて　なくなって
他人のふたりが　いるだけさ
　　・・・　時間を止めて

春風　吹く頃　さよならと
違った道を　歩き出す
　シロツメクサの　髪飾り
願う想いを　捨てたまま

長い髪を　梳く風に
預けてしまえ　思い出たち
　小指を絡めて　誓ってた
明日なんて　今はもう

　見つめ合ってた　微笑みも
　信じ合ってた　心だって

　うずくまって　泣き出して
　　震えて怯えて　すれ違い

時の流れは　早過ぎて
散りゆく花びら　舞うだけさ
　初めて知った　さよならに
他人のふたりが　いるだけさ
　　・・・　時間を止めて

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-

皆様にとってステキな 2019 年の春になりますように！

♪オリジナルCD プレゼントします！ 詳しくは プレゼントコーナーで

プロフィール

大槻　剛巳
（おおつき たけみ）

川崎医科大学衛生学教授
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100m/ハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15＆18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学（医学研究）
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F（10-19）パーソナリティ担当
現在に至る